

神奈川ビューティー&ビジネス専門学校

美容本科
シラバス

2023(令和5)年度

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	関係法規・制度	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	1 (30)	授業方法	講義	履修時期	1・2年次 通年	担当教員	小澤
学習目標	美容師法など、美容業に関連する法律について、知識を深め、法令を遵守した美容業を行うことを学ぶ。						
教科書	「関係法規・制度」「美容師法令集」(公益社団法人日本理容美容教育センター)						
年間授業計画	<p>1 法制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法とは何か ・法令体系、憲法、条約、法律、自治法規 <p>2 衛生行政の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生行政 ・保健所 <p>3 美容師法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美容師法・美容師法施行令、厚生労働省令、美容師法施行条例、美容師法施行条例規則 ・美容師、美容所の定義 ・試験、免許、登録、業務、管理美容師等の関連規定 ・美容所開設、開設者が講ずべき衛生措置、美容所以外での業務 ・立入検査と環境衛生監視員(美容師法第14条、第28条) ・行政処分 ・罰則 <p>4 関連法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美容業運営に関する法律 ・美容業衛生に関する法律 ・労働基準法 ・地域保健法 						
成績評価	学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	衛生管理	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単 位 (時間)	3 (90)	授業 方法	講義	履修 時期	1・2年次 通年	担当 教員	大須賀
学習 目標	公衆衛生について、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的などを学び、美容所における衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解を深める。						
教科書	「衛生管理」(公益社団法人日本理容美容教育センター)						
年間 授業 計画	<p>1 公衆衛生の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生の意義・歴史・美容師と公衆衛生との関係性 ・衛生行政 ・保健所 <p>2 予防医学と保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防医学 ・公衆衛生と統計 ・保健 ・母子保健 ・成人高齢保健 ・精神保健 <p>3 環境衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生の目的、意義、空気環境、衣服住居、上下水道、廃棄物、衛生害虫とネズミ ・公害と環境保全 <p>4 美容所の衛生環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美容所の衛生管理 ・衛生取扱い <p>5 感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と感染症 ・病原微生物等 ・感染症予防 <p>6 衛生管理技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒の原理、意義、適用上の注意 ・理学的消毒法(紫外線消毒、煮沸消毒、蒸気消毒) ・科学的消毒法(アルコール消毒、次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤) ・消毒法実習(消毒薬や器具の扱い、希釈液の濃度、消毒液の希釈方法) 						
成績 評価	学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	保健	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	3 (90)	授業方法	講義	履修時期	1・2年次 通年	担当教員	大須賀
学習目標	人の身体の構造や機能を理解し、健康に保つ方法や疾患など、美容と保健の関わりについて学び、美容師に必要な解剖学、皮膚科学の理解を修得する。						
教科書	「保健」(公益社団法人日本理容美容教育センター)						
年間授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 人体の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ・人体各部の名称 ・頭部、顔部、頸部の体表解剖学 2 骨格器系 <ul style="list-style-type: none"> ・骨の種類や構造 ・骨の連結 ・骨格器系とそのはたらき 3 筋系 <ul style="list-style-type: none"> ・筋の種類と特徴 ・骨格筋とそのはたらき ・表情筋 4 神経系 <ul style="list-style-type: none"> ・神経系の成り立ち ・中枢神経、末梢神経 5 感覚器系 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚、聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚 6 血液・循環器系 <ul style="list-style-type: none"> ・血液循環のあらまし、心臓と血管、リンパ 7 呼吸器系 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系のあらまし ・気道 ・肺の仕組みとガス交換 ・呼吸運動 8 消化器系 <ul style="list-style-type: none"> ・消化器系のあらまし ・消化器系の仕組み ・消化管のはたらき 9 皮膚の構造 <ul style="list-style-type: none"> ・表皮、真皮、皮下組織 10 皮膚の付属器官 <ul style="list-style-type: none"> ・毛、脂腺、汗腺、爪 11 皮膚の循環器系と神経系 <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の血管、リンパ管、神経 12 皮膚と付属器官の生理機能 <ul style="list-style-type: none"> ・対外保護 ・体温調節 ・知覚と皮膚反射 ・呼吸 ・吸収 13 皮膚と付属器官の保健 <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の全身状態 ・皮膚と精神 ・皮膚と栄養 ・皮膚とし好品 14 皮膚と付属器官の疾患 <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚異常とその種類 ・化膿筋、ウィルス、真菌、害虫 						
成績評価	学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	化粧品化学	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	2 (60)	授業方法	講義	履修時期	1・2年次 通年	担当教員	根岸
学習目標	美容機器・化粧品を適正に取り扱うために機械器具、化粧品の働きを理解し正しく取り扱う上で必要な科学的知識を学ぶ。						
教科書	「化粧品化学」(公益社団法人日本理容美容教育センター)						
年間授業計画	<p>1 化粧品概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品化学の社会的意義と品質性質 ・安全性と取扱いの注意 <p>2 化粧品原料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化粧品人体各部の性情 ・水性原料、油性原料、界面活性剤、高分子化合物、色材、香料 <p>3 基礎化粧品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の配分成分、ネイル・マツエク用材料、皮膚清掃用化粧品、化粧水 <p>4 基礎化粧品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイクアップ用化粧品(クリーム、乳液、その他の基礎化粧品) ・頭皮頭毛用化粧品(シャンプー剤、スタイリング剤、パーマ剤、ヘアカラー剤) <p>5 芳香製品と特殊化粧品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育毛剤 ・芳香製品 ・特殊化粧品 						
成績評価	学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	文化論	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	2 (60)	授業方法	講義	履修時期	1・2年次 通年	担当教員	吉田
学習目標	美容文化史、美容デッサン、服飾・ファッション・デザインの変遷、色彩や表現方法について深く学ぶ。						
教科書	「文化論」(公益社団法人日本理容美容教育センター)						
年間授業計画	<p>1 総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美容文化の概要 <p>2 日本の美容業の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理容業、美容業の発生 ・江戸、近代、現代の理容業・美容業 ・日本髪 <p>3 ファッション文化史 日本編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文、弥生、古墳時代 ・飛鳥、奈良、平安時代 ・鎌倉、室町、戦国時代 ・安土桃山時代 ・江戸時代 ・明治、大正、昭和時代 <p>4 ファッション文化史 西洋編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代エジプト ・古代ギリシャ、ローマ ・古代ゲルマン ・中世ヨーロッパ ・近世16～19世紀 ・近代～現代 <p>5 礼装の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和装の礼装 ・洋装の礼装 						
成績評価	<p>学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。</p>						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	美容技術理論	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	5 (150)	授業方法	講義	履修時期	1・2年次 通年	実務経験のある教員	石田 野田 石渡
学習目標	基礎から特殊技術までの器具の取り扱い、その目的や酒類、特徴、技術上の注意点について学ぶ。						
教科書	「美容技術理論1」「美容技術理論2」(公益社団法人日本理容美容教育センター)						
年間授業計画	<p style="text-align: center;">序章 美容技術理論を学ぶにあたって</p> <p>1 美容用具</p> <p>2 シャンプーイング</p> <p>3 ヘアカットイング</p> <p>4 パーマネントウェービング</p> <p>5 ヘアセットイング</p> <p>6 ヘアカラーリング</p> <p>7 エステティック</p> <p>8 ネイル</p> <p>9 メイクアップ</p> <p>10 日本髪</p> <p>11 着付け理論と技術</p>						
成績評価	学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	運営管理	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	1 (30)	授業方法	講義	履修時期	1・2年次 通年	担当教員	野澤
学習目標	サロン経営に必要な経営管理、労務管理、接客法、マーケティングなどの知識。手法を学ぶ。						
教科書	「運営管理」(公益社団法人日本理容美容教育センター)						
年間授業計画	<p>1 経営者の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営とは、経営者とは ・理容業、美容業の経営について ・資金の管理 <p>2 人という資源 従業員としての視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人という資源 ・健康、安全な職場環境の実現 従業員としての視点 <p>3 顧客のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス デザイン ・マーケティング ・サービスにおける人の役割 						
成績評価	<p>学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。</p>						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	美容実習	課目区分	必修	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単 位 (時間)	30 (900)	授業 方法	実習	履修 時期	1・2年次 通年	実務経験 のある教 員	石田 野田 石 渡
実務経 験教員	美容関係企業で美容師として従事						
学習 目標	美容師国家試験課題を中心に衛生迄の範囲を学ぶ。また、美容師国家試験を得る上で修得しておくべき美容技術の基本的技術を修得する。						
教科書	「美容実習1」（公益社団法人日本理容美容教育センター）						
年間 授業 計画	<p>1 パーマネントウェービング(ワインディング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生的な取扱い ・作業時の姿勢 ・立位作業 ・正対 ・毛髪(ウィッグの扱い方) ・道具の使い方 ・ブロッキング ・スライス ・シェープ ・頭の丸みと角度 ・正確な作業 ・全体のバランス <p>2 ヘアセッティング(オールウェーブセッティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィッグコンディションの調整 ・フィンガーウェーブの作り方 ・カールの作り方 ・コームと手の連動 ・全体のバランス ・ノーパート7段構成の理解 <p>3 ヘアカットイング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シザー、コーム、ダッカールの使い方 ・姿勢、目線、立ち位置 ・ブロッキング ・スライス ・シェープ <p>4 シャンプーイング</p> <p>5 ヘアカラーリング</p> <p>6 エステティック</p> <p>7 ネイル</p> <p>8 メイクアップ</p> <p>9 日本髪</p> <p>10 着付け理論と技術</p>						
成績 評価	学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	一般教養課目	課目区分	選択	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	2 (60)	授業方法	講義 演習	履修時期	1年次	担当教員	各担当
学習目標	2教科を選択させ、将来の職業に生かせる教養を養う。						
教科書	担当教員資料						
年間授業計画	<p>1 保健Ⅰ(美容と皮膚) 担当教員 根岸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚付属器官の構造や毛髪などの構造等、機能の知識を美容技術と関連させて学ぶ。 <p>2 保健Ⅱ(美容と栄養) 担当教員 大須賀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚付属器官の構造や毛髪などの構造等、機能の知識を栄養面より関連させて学ぶ。 <p>3 社会Ⅰ(経済) 担当教員 恩田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経済」を理屈ではなく、事例から学んでいく。現代にあった考え方を学ぶ。 <p>4 芸術Ⅰ(写真) 担当教員 木浪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、撮影技術等の基礎知識を学ぶ。静物、風景、人物等を使い、知識を習得する。 <p>5 芸術Ⅱ(華道) 担当教員 服部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの様々な花材を用いて、花型の基本形と盛花の基本を習得する。 <p>6 芸術Ⅲ(色彩) 担当教員 矢田部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の幅広い知識として色彩が人間や社会環境に与える効果、配色理論等を学ぶ。 <p>7 芸術Ⅳ(デッサン) 担当教員 吉田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現方法の土台となるデッサンの基本テクニックを学ぶ。 <p>8 外国語(英語) 担当教員 松本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常会話、美容の現場を想定した会話を中心に、実践的な英語を学ぶ。 						
成績評価	学習成績の評価は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	一般教養課目	課目区分	選択課目	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	4 (120)	授業方法	講義 演習	履修時期	1年次	担当教員	石田 野田 石渡
実務経験教員	美容関係企業で美容師として従事						
学習目標	ヘアケアや毛髪のケミカルな部分を実習において体感することでより総合的に理解させる。						
教科書	担当教員資料						
	<p style="margin-left: 40px;">1 保健Ⅲ(毛髪化学Ⅰ)</p> <p style="margin-left: 80px;">・ヘアケア製品の特長と種類</p> <p style="margin-left: 40px;">2 保健Ⅳ(毛髪化学Ⅱ)</p> <p style="margin-left: 80px;">・ヘアケア製品の特長と種類(実習)</p> <p style="margin-left: 80px;">・ヘアシャンプーイング ・ヘアトリートメント ・ヘッドマッサージ</p>						
成績評価	学習成績の評価は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	専門課目「総合技術」	課目区分	選択	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	8 (240)	授業方法	実習	履修時期	2年次	実務経験のある教員	石田 野田 石渡
実務経験教員	美容関係企業で美容師として従事						
学習目標	必須で学んだ基礎技術からより深く美容技術を学んでいく。						
教科書	担当教員資料						
	<p>1 総合技術Ⅰ(ヘアスタイリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TPOに合った様々な場面のスタイルを学ぶ。 <p>2 総合技術Ⅱ(トータルモード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘアモードを含めたデザインの歴史を研究し、美容技術を通して表現することを学ぶ。 <p>3 総合技術Ⅲ(ポートレート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートレートに関する基礎を理解させ、その技術を習得させる。 						
成績評価	学習成績の評価は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						

2023(令和5)年度 シラバス

課目名	専門課目「特殊技術」	課目区分	選択	課程	衛生専門課程	学科	美容本科
単位(時間)	6 (180)	授業方法	実習	履修時期	2年次	実務経験のある教員	石田 野田 石渡
実務経験教員	美容関係企業で美容師として従事						
学習目標	3つの専攻から選択させ、より深い知識と技術を身につける。						
教科書	担当教員資料						
	<p>1 特殊技術A(まつげエクステーション・まとめ髪・着付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつ毛エクステーション: 業界で需要のあるまつ毛エクステーションの基礎を学ぶ。 ・まとめ髪: まとめ髪に関する基礎を理解し、その技術を習得する。 ・着付: 着付総合「振袖、訪問着、振袖」TPOに合った様々な場面のスタイルを学ぶ。 <p>2 特殊技術B(カラー・ネイル・メイク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラー: 色の持つ感覚的な力を身につけるために、知識とセンスを学んでいく。 ・メイク: メイク技術を通じ、接客業に欠かせない技術とカウンセラー力を身につける。 ・ネイル: メイク技術を通じ、接客業に欠かせない技術とカウンセラー力を身につける。 <p>3 特殊技術(コンクールⅠ・コンクールⅡ・サロンワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクールⅠ 学生大会のコンテスト(カット)出場のレベルまで学ぶ。 ・コンクールⅡ 学生大会のコンテスト(ワインディング)出場のレベルまで学ぶ。 ・サロンワーク 1年次にウィッグで学んだ基礎を互いの相モデルで応用。サロンワークを学ぶ。 						
成績評価	学習成績の評価は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行い、担当者確認の上、修了とする。						